

下町の旅籠嶋屋のお祓い箱

江戸時代、行田の下町で嶋屋権兵衛を代々名乗り、脇本陣格の旅籠を営んだ小澤家というお宅がありました。遺された品々は現在、郷土博物館に収蔵されています。小澤家にはさまざまな信仰関係の資料に加え、多くのお祓い箱が眠っていました。これらは当時の人々の習俗を物語る資料ですので、今回お披露目したいと思います。



嶋屋のお祓い箱と収められていたお祓い申(郷土博物館蔵)

御師の手を介して何度も伊勢で祈禱されたお祓い申は箱に収められ、定期的に檀家の元へ届けられました。民衆が伊勢神宮を直接拝礼することの叶わなかった時代に、神聖な「お伊勢さま」のご利益をお祓い申やお札といった目に見える形で人々は受け取っていたのです。

お祓い箱という言葉は現代でも「不要になったもの」という意味で使われることがあります。その語源は例年祈禱のたびに新たなお祓い申の入った箱を授かるため、それ以前のもを処分していたことに由来します。しかし、嶋屋の歴代の人々がお祓い箱を大切に遺しておいてくれたからこそ、今私たちはかつての町人の暮らしぶりに触れることができるのです。

(郷土博物館 澤村怜薫)

はじめまして



令和2年12月生まれのお子さんを募集します

- 10月1日(金)～29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
- 応募者多数の場合は、11月1日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和2年10月生まれのおともだち



高橋 結菜ちゃん(野)  
令和2年10月12日生まれ  
父・諒平さん 母・香緒里さん  
「笑顔が素敵で 優しい子に育ってね♡」



江森 幹太ちゃん(長野)  
令和2年10月23日生まれ  
父・庸介さん 母・真実さん  
「大きな声で たくさんお話ししてね」



小林 莉空ちゃん(谷郷)  
令和2年10月9日生まれ  
父・亮介さん 母・美保子さん  
「大好きだよ♡」



塚越 奏心ちゃん(西新町)  
令和2年10月16日生まれ  
父・広信さん 母・梓さん  
「笑顔と成長が パパとママの幸せだよ」



小嶋 乃愛ちゃん(門井町)  
令和2年10月30日生まれ  
父・優太さん 母・瑠美さん  
「生まれてきてくれてありがとう！ 明るく元気に育ってね！」



安田 莉乃ちゃん(持田)  
令和2年10月13日生まれ  
父・淳さん 母・安那さん  
「ハッピーを毎日ありがとう♡」

今月の表紙

まだ食べられるのに捨てられる「食品ロス」は、日本で年間約600万トン発生しています。このうち、約半分が家庭からの排出です。一人一人が「もったいない」という意識を持ち、食べ物を残さず食べることや余分に食品を買っていないことなどを心掛け、食品ロス削減に取り組みましょう。



現在の友だち登録数 25,000人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。

ホームページ <https://www.city.gyoda.lg.jp>



環境にやさしい 植物油インキ

市報ぎょうだは 再生紙を使用しています